

## 平成14年9月度 大丸営業報告

### 1. 9月度営業概況

- ・ 上旬の記録的な残暑や下旬の雨など気温・天候が不順であったことなどにより、実需期である秋物商品の動きにバラツキがみられ、須磨店・芦屋店を加えた直営9店舗の売上高は、対前年3.2%増、既存7店舗では同2.2%となった。
- ・ 婦人服では、ヤングはカットソーなどの活発な動きに支えられ健闘したものの、ミセスやプレタポルテはジャケットなど重衣料の動きが鈍く苦戦した。
- ・ 身の回り品では、アクセサリ、旅行用品などの動きが目立った一方、婦人靴、ハンドバックは苦戦した。婦人靴のうち、ブーツは「筒廻りサイズの選べるブーツ(当社オリジナル企画のカスタマーズビュー)」などを中心に動きが活発であったものの、パンプスやカジュアルシューズは振るわなかった。
- ・ 子供服は、幼児・スクール衣料が全体を引っ張り、引き続き好調を維持した。
- ・ 紳士服は、カジュアルは好調であったものの、ビジネスウェアの動きが鈍く、前年減となった。
- ・ 食品は、和洋菓子が好調であったことや、BSE騒動が一巡し生鮮食品の売上が回復したことなどにより、前年を上回った。
- ・ 東京店は、9月6日にオープンした丸ビルの集客効果などにより入店客数が大幅に増加、主力の婦人服や食品がプラスとなったことに加え、幕張の「恐竜博」に出店した売店の売上が引き続き好調であったことが寄与し、先月に続き高い伸びとなった。

### 2. 9月度店舗別売上高対前年増減率(%)

店舗・地区	店舗売上			合計売上高	入店客数	営業日数 増減
	現金	掛	計			
心斎橋店	8.4	1.2	6.3	6.3	5.0	±0日
梅田店	8.3	15.7	8.9	8.9	2.6	±0日
大阪地区計			7.5	7.5		
東京店	5.4	18.6	7.1	7.0	9.9	±0日
京都店	3.2	3.5	1.7	1.7	3.4	±0日
山科店	3.7	4.2	3.6	3.6		±0日
京都地区計	2.6	3.5	1.3	1.3		
神戸店	1.9	6.3	0.7	0.7	2.0	±0日
新長田店	8.5	5.0	8.4	8.4		±0日
須磨店	--	--	--	--		±0日
芦屋店	--	--	--	--		±0日
神戸地区計	19.7	15.8	19.1	19.1		
全社合計	3.3	2.8	3.2	3.2		
既存7店舗計	2.7	0.6	2.2	2.2	0.2	

土曜日・日曜日・祝日数は前年と同日数

入店客数の計は既存5店舗計

### 3. 9月度商品群別全社売上対前年増減率(%)

商品群	9月度	
	9店計	既存7店計
紳士服・洋品	2.9	5.1
婦人服・洋品	5.0	0.3
子供服・洋品	8.1	2.6
その他の衣料品	0.4	0.4
衣料品計	3.5	0.6
身の回り品	8.8	10.2
家具	20.3	20.3
家電	20.9	20.9
その他の家庭用品	0.4	5.0
家庭用品計	8.3	11.1
食料品	18.0	0.2
食堂・喫茶	3.0	1.9
雑貨	0.5	0.5
サービス	19.3	0.4
その他	44.0	43.0
合計	3.2	2.2

お問い合わせ先

株式会社大丸 本社広報室

TEL (06) 6281-9002

FAX (06) 6245-1343

以上